

# なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

## 令和3年11月 第3回臨時会・全員協議会

### 第3回臨時会

9 P

○令和3年第3回臨時会は、11月9日の1日間の会期で開かれました。

★第3回臨時会可決議案一覧 …… 9 P

☆11月補正予算（第6号） …… 9 P

☆木曾南部土砂防災ネットワーク

議員連盟総会 …… 11 P

☆各種委員会報告 …… 11 P

●国道256号改良促進特別委員会・

経済観光常任委員会

●リニア新幹線対策特別委員会

☆全員協議会 …… 13 P

●妻籠宿重伝建保存事業の見直し

●認定こども園の設置に伴う条例等の説明

## 第3回臨時会 可決議案一覧表

予算関連議案	賛否
●令和3年度 補正予算	全員賛成
・一般会計の補正は1億1,304万円増額し、総額42億5,835万7千円となります。	

### 補正予算審議概要

令和3年11月補正予算（一般会計第6号）が審議され、全会一致で可決されました。補正予算概要を次ページの表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

#### 災害復旧工事

●町道富貴畑線

Q 町道富貴畑線の災害復旧の予定は。

A 11月中旬に工事を発注する予定です。地元の強い要望もふまえ、業者と協議しながら年度内の完成を目指します。

●町道中山道線

Q 下り谷の本復旧が始まるが、妻籠第三駐車場から馬籠へ向かう歩道も蘭川側へ大きくえぐれており危険である。対応は考えているか。

A 町でも承知はしており、どのように修復すれば良いか検討中です。

意見 最近では観光客も

増えてきている。早期の復旧と危険を知らせる案内をお願いしたい。

●大山区水源

Q 大山区水源の災害復旧状況は。

A 導水管の一部が被災しましたが、仮設管により支障なく取水しています。冬期に向けて、仮設管の凍結防止対策をする予定です。水源の谷や周囲の沢も多く被災しています。が、国有林内であるため森林管理署と溪流整備を含め検討中です。工事の時期については未定です。

(補正予算)



大井水水路舟ヶ島頭首工

**● 林道田の沢線**  
**Q** 林道田の沢線の復旧工事状況は。  
**A** 地元の了承が得られたため、早急に進めていきます。奥には水道水源や農業用水路の頭首工もあり、応急復旧費約100万円を計上

**● 大井水水路**  
**Q** 大井水水路舟ヶ島頭首工の災害復旧の中で吊り橋の撤去工事があるが、橋の所有者は町か。また、農業用水への影響は。  
**A** 所有者は不明です。危険性が高く地元からの要望もあり、この機会に撤去することになりました。  
 今のところ農業用水への影響はほとんどありません。

**● 林道袖山線**  
**Q** 林道袖山線の災害は査定済みか。  
**A** 5月の災害であり、査定を経て予算計上しています。

0万円の補助事業となっているが、国庫補助事業となっていないのはなぜか。  
**A** 耕地災害では以前から国庫補助については県費として計上しているためです。県を通じた国庫補助事業として、2500万円を計上しています。

**● 桃介橋右岸の落石**  
**Q** 現在、桃介橋右岸は落石通行注意となつているが、現在の状況や大雨災害との関連は。  
**A** 通路に落石があったため夏場に調査を行いました。箇所が特定できず当面様子を見るために看板を設置している状況です。大雨災害とは関係ありません。草の少ない時期に再度調査を行い、対処する予定です。



桃介橋右岸側の落石箇所

**● 工期の延長**  
**Q** 今年度は災害が多い。商工会との懇談会では、業者も災害復旧で手一杯という話もあった。これから工事も冬期に掛かってくるため、工期の延長を検討できないか。  
**A** 災害復旧は年度内など早い時期に行うことが原則となっています。事情のあるものについては、工期の設定が検討されることもあります。

**要望** 冬期に向かうこの時期に多くの事業が

発注されている。3月までの工期についてはしっかりと配慮してほしい。

**● 災害復旧工事の進捗**  
**Q** 被災箇所の一部で今回の予算で災害復旧するということだが、この他にも県が検討している箇所もある。  
 災害箇所や復旧計画が決まった箇所などの進捗を見える化できないか。

**A** 5月の豪雨災害では約100か所が被災し、うち約80か所は復旧などの対応が終了しています。残り2割のうち11月補正で対応するものと検討中が数か所あります。  
 8月災害は約50か所が被災し、約40か所は対応が終了しています。残り2割は11月補正で対応しますが、岩倉沢など県の事業についてはまだ報告はありません。

令和3年11月補正予算 (11/9決)

一般会計補正予算 1億1,304万円を増額  
 総額 42億5,835万7千円に

●一般会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補 正 額	補正後の金額
一般会計 (第6号)	113,040	4,258,357

●一般会計補正の主なもの (単位:千円)

事業名	金 額
農道万蔵沢線災害復旧事業など	54,200
町道中山道災害復旧事業など	47,700
林道奥向夏虫線災害復旧事業	7,200

## 報告 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会

10月14日、大桑村野尻地区館において木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、三密を避け、換気や参加者の検温、マスク着用などを行いました。

南木曾町、上松町、大桑村、王滝村の議員が参加し、来賓として各町村長に出席していただきました。

総会では、令和2年度事業報告・収支決算報告と令和3年度事業計画・収支予算、役員改選などが審議、承認されました。



右：新たに議員連盟会長に就任した上松町の永井議長（写真右）



左：総会の様子

## 委員会報告 国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会

11月25日、国道256号改良促進特別委員会と経済観光常任委員会が合同で木曾建設事務所と現地視察・意見交換会を開催しました。

### 国道256号改良促進特別委員会の報告

- ・国道256号漆畑地籍の拡幅改良工事の図上説明を受けました。今後妻籠宿と昼神温泉郷を結ぶ観光道路としての快適性、安全性の確保が高まります。



田立大滝川橋梁下部工事



馬籠峠線の改良工事完成箇所

### 経済観光常任委員会の報告

- ・主要地方道中津川南木曾線下り谷地籍の改良箇所の現地視察。  
今後、中央道神坂スマートICが開設されることにより妻籠方面への交通量の増加が見込まれる路線です。
- ・主要地方道中津川南木曾線の大滝川橋梁下部工の工事箇所の現地視察。  
将来的には木曾川右岸道路として期待されます。
- ・県道南木曾停車場線大沢田橋の歩道設置工事の図上説明を受けました。  
南木曾小学校の通学路にもなっているため、登下校時の児童の安全性が高まります。
- ・木曾川右岸道路と国道19号を結ぶ高瀬橋は現橋より下流側に建設するための予備設計を行っています。

### 意見交換会での主な意見等

- ・大沢田橋の歩道改良に関連して、接続するJR跨線橋の歩道が狭いため拡幅できないか。
- ・高瀬橋の架け替えに合わせて町道坂の下線との交差点の設置を考えてほしい。

（文責：近藤 隆委員長）

## 委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

### ■11月8日 中津川市議会・南木曽町議会リニア特別委員会合同会議

11月8日、中津川市議会と南木曽町議会の第7回合同会議を南木曽町役場で開催しました。

昨年度はコロナ禍により出席人数を限定しての開催でしたが、今年度は両特別委員会の委員全員と、両市町のリニア関係部署が出席しました。

会議では、両委員会の活動状況やリニア計画における最近の動向、10月27日に発生した瀬戸工区の崩落事故などについて報告がなされ、その後意見交換を行いました。

#### 会議の中での主な意見・質問

- ・木曽川右岸道路、岐阜県道6号線の対策、対応は。
- ・令和3年4月に行った、中津川市と恵那市のリニア懇談会について。



中津川市議会との合同会議

- ・中津川市議会では、今年度地元からリニアに関する要望や陳情は出されたか。
- ・車両基地により中津川市の移住者が増えることが見込まれるが、住居用地の確保は。また、組立部品の産業環境やテクノパークとの関連は。
- ・人口減少が問題となっているが、南木曽町ではどのようにリニアを有効活用していくか。
- ・リニア活用基本構想は町の総合計画と、リンクされているか。
- ・国道19号落合エリアの片側通行、通勤時間帯の中津川バイパスの渋滞緩和について。



阿智村議会との現地視察  
(広瀬工区の仮設橋から対岸の工事ヤードへ)

### ■11月26日 阿智村議会・南木曽町議会リニア特別委員会合同会議

11月26日、阿智村議会と南木曽町議会の合同会議を開催し、両特別委員会の委員全員と、両町村のリニア関係部署が出席しました。

会議では、広瀬非常口ヤード、町道棚橋線、尾越非常口ヤードの現地視察を行い、現場担当者から工事の進捗状況を聞きました。また、役場会議室で活動状況報告や意見交換を行いました。

#### 会議の中での主な意見・質問

- ・熱海市の土砂災害を受け、JRから安全対策などの計画は出ているか。
- ・地元では、発生土を置く事に対して安全面で不安が高まっている。

- ・豊丘村の工事現場写真の紹介と沢の埋立地などについて。
- ・阿智村議会では、最終的に地元で判断出来るよう村独自の調査チームを作ることにについて要望中である。
- ・県からJRへ環境影響評価や保全計画について助言しているが、地元の思いがはっきり入っていないように思える。
- ・土地の売買や賃借について、町として個別の対応は行っているか。また、用地取得についてはどうか。

(文責：赤坂 孝委員長)

議会と町の意見交換

全員協議会

(11月9日)

妻籠宿重伝建保存事業の見直し

【説明概要】

妻籠宿重伝建保存事業に係る各説明会等で

出された主な意見を踏まえての教育委員会の考えが示されました。

妻籠宿重伝建保存事業への質問・意見・要望

- 9月の全員協議会で「保存事業については財源を確保した上で実施していく」と述べているが、具体的にはどのように財源を確保していくのか。
- 現状を考えれば一般財源化は仕方のないことだと思うが、保存事業はこの先何十年も続く。さらに老朽化が進めば費用は増加する一方だが、教育委員会としてどう考えているか。
- 「売らない・貸さない・こわさない」の妻籠宿三原則の見直しについては、現在どのような状況なのか。
- 一般会計化を機に、三原則の見直しも含め、妻籠のただけでなく全町民の意見を聴くべき。

●…質問 ○…意見・要望

認定こども園の設置に伴う条例等の説明

【説明概要】

認定こども園への移行に伴い、こども園設置条例やこども園の管理・運営に係る規則を制定することについて説明がありました。また、新たな職員体制や移行までのスケジュール案、通園バスの新規運行ルート案などが示されました。



認定こども園の設置に伴う条例等の説明への質問・意見・要望

通園バスの運行

- 通園バスのバス停はどのように決めるか。また、箇所数は決まっているのか。
- 家の前を通る場合は、バス停でなくても乗ることが出来るのか。
- 路線変更の実施は早くても来年の9月ということだが、地域の要望に応えられるのか。
- 右岸道路を通って欲しいという要望がある。通園のためにバスを貸し切ることあるか。
- 4月までに地域公共交通による解決が待てない地域については、応急対策として専用バスを運行せざるを得ないのではないのか。
- 保神線は蘭保育園から国道に上がる経路では地域バスにならないのでは。
- 現行ではバス利用は1.5km以上となっているが、南木曾駅前の園児の乗降はどうなるか。
- 冬期の与川線はお寺の北側の下り坂が危険である。凍結などへの対策は。

添乗員

- 募集はどのように行うか。また、年齢制限などはあるのか。
- 3時間×1,000円/時間という報酬は妥当なのか。
- 研修などは予定しているか。
- 子どもたちの安全に関わることでもあるので、慎重に対応してほしい。
- 添乗員の乗降場所を保育園にすると応募しやすいと思う。

条例・規則

- 休日規定は土日・祝日・正月となっているが、実態としてそうなるのか。
- 保護者の事情による保育短時間から標準時間への変更は、年度途中でも可能なのか。
- 分園の開園時間や職員体制について、さらなる検討を求む。
- 保育料無償化の経緯から、延長保育料についても無償とするのが好ましい。

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中に関わらず議長招集により開催し、公開を原則とします。